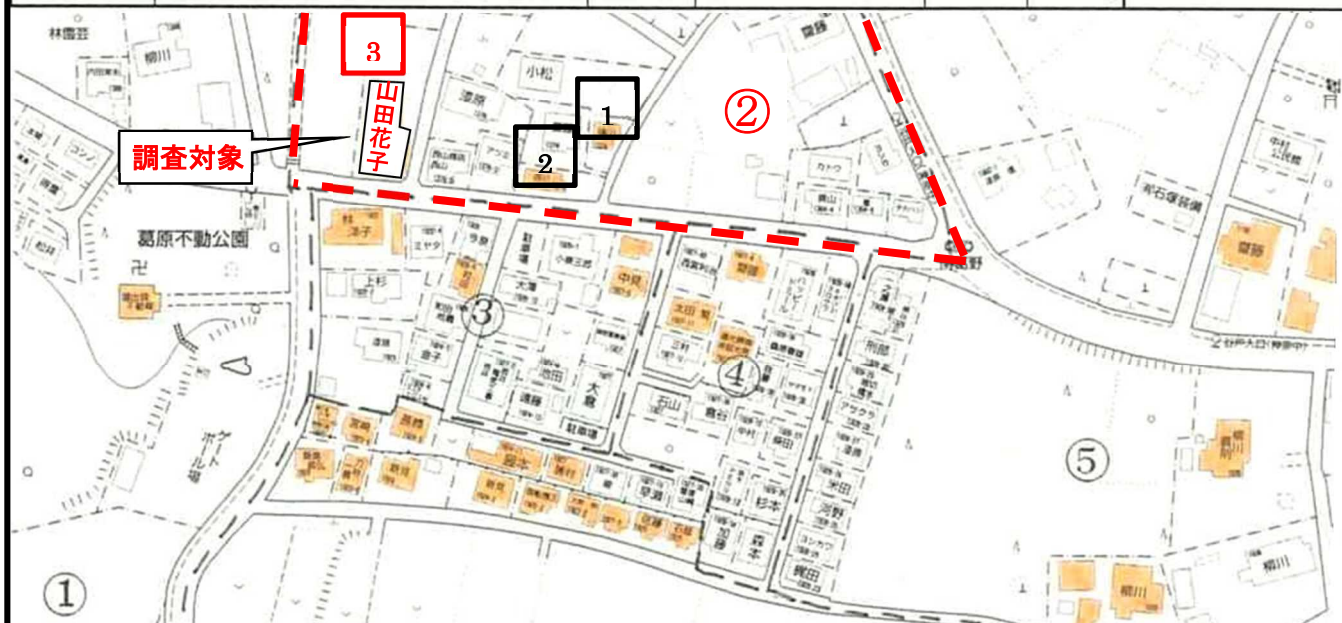


藤沢市	地図番号	40 R	チーム・ 班番号	判定士氏名	調査棟数	棟	備考
	調査街区番号:						
街区マップ	地区: 藤沢	判定調査日	/	判定士氏名	危険(赤)	棟	
	避難施設: 御所見中学校			認定番号	要注意(黄)	棟	
					調査済(緑)	棟	



【3. 外観の状況】

写真を見て危険度を判定してください。

「調査1ー見して危険と判定される。」について、該当する場合は項目に○をつけてください。



南西側



南東側



北側

【4. 窓の状況】

写真を見て危険度を判定してください。

「調査3②窓枠・窓ガラス」について、該当する項目に○をつけてください。

(手帳 P 5 7 表㊦ 参照)



【5. 外装材の状況】

写真を見て危険度を判定してください。

「調査3④外装材 乾式の場合」について、該当する項目に○をつけてください。

(手帳 P 5 6

表㊧ 参照)





【6. 基礎の状況】

写真を見て危険度を判定してください。

「調査2③基礎の被害」について、該当する項目に○をつけてください。

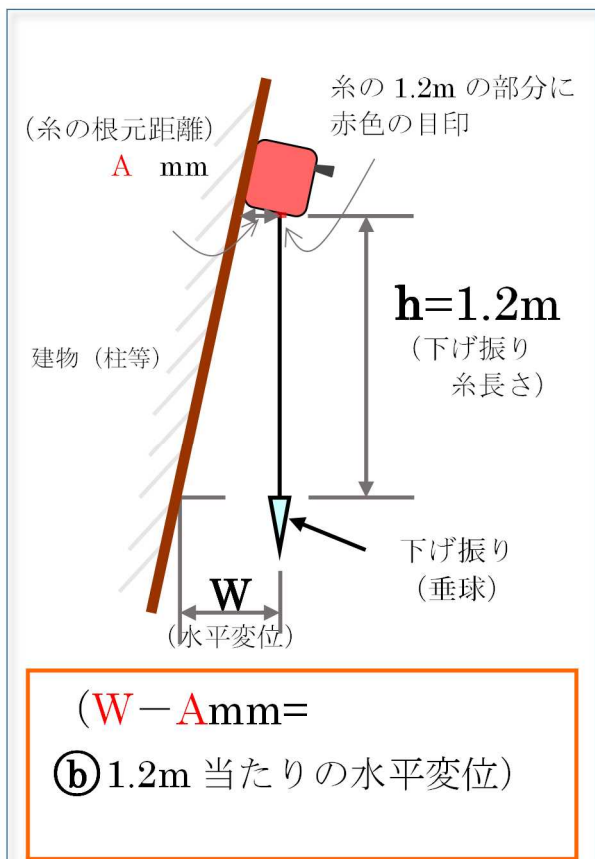
(手帳P58、59 表㊦ 及び 対応表② 参照)

【7. 建築物の傾斜】

下げ振り実演講習を受けた後に危険度を判定してください。

「調査2④建築物の1階の傾斜」について、該当する項目に○をつけてください。

(手帳P55 表㊦ 参照)



演習 2 調査表 (赤枠の部分以外は記入不要)

木造建築物の応急危険度判定調査表

集計欄は数字で記入

木

整理番号 _____ 調査日時 _____ 月 _____ 日 午前・午後 _____ 時 調査回数 _____ 回目

調査者氏名 (都道府県/No) _____ (_____ / _____)
 _____ (_____ / _____)

建築物概要

1 建築物名称 _____ 1.1 建築物番号 _____

2 建築物所在地 _____ 2.1 住宅地図整理番号 _____

3 建築物用途 1. 戸建て専用住宅 2. 長屋住宅 3. 共同住宅 4. 併用住宅 5. 店舗 6. 事務所
 7. 旅館・ホテル 8. 庁舎等公共施設 9. 病院・診療所 10. 保育所 11. 工場
 12. 倉庫 13. 学校 14. 体育館 15. 劇場、遊戯場等 16. その他 ()

4 構造形式 1. 在来軸組構法 2. 枠組(壁)工法(ツバイオ) 3. プレファブ 4. その他 ()

5 階数 1. 平屋 2. 2階建て 3. その他 ()

6 建築物規模 1階寸法 約 ア _____ m×イ _____ m

整理番号

建築物番号

住宅地図整理番号

3

4

5 階

ア m

イ m

調査方法

1

レ

調査 調査方法: (1. 外観調査のみ実施 2. 内観調査も併せて実施)

1 一見して危険と判断される。(該当する場合は○を付け危険と判定し調査を終了し総合判定へ)

1. 建築物全体又は一部の崩壊・落階	2. 基礎の著しい破壊、上部構造との著しいずれ
3. 建築物全体又は一部の著しい傾斜	4. その他 ()

2 隣接建築物・周辺地盤等及び構造躯体に関する危険度

	Aランク	Bランク	Cランク		
① 隣接建築物・周辺地盤の破壊による危険	1. 危険無し	2. 不明確	3. 危険あり	①	1
② 構造躯体の不同沈下	1. 無し又は軽微	2. 著しい床、屋根の落ち込み、浮き上がり	3. 小屋組の破壊、床全体の沈下	②	1
③ 基礎の被害	1. 無被害	2. 部分的	3. 著しい(被害あり)	③	
④ 建築物の1階の傾斜	1. 1/60以下	2. 1/60~1/20	3. 1/20超	④	
⑤ 壁の被害	1. 軽微なひび割れ	2. 大きな亀裂、剥離	3. 落下の危険有り	⑤	1
⑥ 腐食・蟻害の有無	1. ほとんど無し	2. 一部の断面欠損	3. 著しい断面欠損	⑥	1
危険度の判定	1. 調査済み 全部Aランクの場合 (要 内観調査)	2. 要注意 Bランクが1以上ある場合	3. 危険 Cランクが1以上ある場合	判定	

3 落下危険物・転倒危険物に関する危険度

	Aランク	Bランク	Cランク		
① 瓦	1. ほとんど無被害	2. 著しいずれ	3. 全面的にずれ、破損	①	1
② 窓枠・窓ガラス	1. ほとんど無被害	2. 歪み、ひび割れ	3. 落下の危険有り	②	
③ 外装材 湿式の場合	1. ほとんど無被害	2. 部分的なひび割れ、隙間	3. 顕著なひび割れ、剥離	③	
④ 外装材 乾式の場合	1. 目地の亀裂程度	2. 板に隙間が見られる	3. 顕著な目地ずれ、板破損	④	
⑤ 看板・機器類	1. 傾斜無し	2. わずかな傾斜	3. 落下の危険有り	⑤	1
⑥ 屋外階段	1. 傾斜無し	2. わずかな傾斜	3. 明瞭な傾斜	⑥	1
⑦ その他 ()	1. 安全	2. 要注意	3. 危険	⑦	1
危険度の判定	1. 調査済み 全部Aランクの場合	2. 要注意 Bランクが1以上ある場合	3. 危険 Cランクが1以上ある場合	判定	

総合判定 (調査の1で危険と判定された場合は危険、それ以外は調査の2と3の大きい方の危険度で判定する。)

1. 調査済(緑) 2. 要注意(黄) 3. 危険(赤)

総合判定

コメント (構造躯体等が危険か、落下物等が危険かなどを記入する。)

コメントは判定ステッカーの注記と同じとする。

演習 2 解答例

木造建築物の応急危険度判定調査表

集計欄は数字で記入

木

整理番号 40R-②-3 調査日時 9 月 20 日 午前・午後 3 時 調査回数 回目

調査者氏名（都道府県/No） 氏 名 （ 神奈川 / ）
（ / ）

建築物概要

1 建築物名称 山田 花子 1.1 建築物番号 ②-3

2 建築物所在地 藤沢 2.1 住宅地図整理番号 40R

3 建築物用途

1. 戸建て専用住宅	2. 長屋住宅	3. 共同住宅	4. 併用住宅	5. 店舗	6. 事務所
7. 旅館・ホテル	8. 庁舎等公共施設	9. 病院・診療所	10. 保育所	11. 工場	
12. 倉庫	13. 学校	14. 体育館	15. 劇場、遊戯場等	16. その他（ <u> </u> ）	

4 構造形式

1. 在来軸組構法	2. 枠組（壁）工法（ツーバイフォー）	3. プレファブ	4. その他（ <u> </u> ）
-----------	---------------------	----------	---------------------------

5 階 数

1. 平屋	2. 2階建て	3. その他（ <u> </u> ）
-------	---------	---------------------------

6 建築物規模

1 階寸法	約 <u>ア</u> <u>3.6</u> m × イ <u>5.4</u> m
-------	--

調査 調査方法：（1. 外観調査のみ実施 2. 内観調査も併せて実施）

整理番号
40R-②-3

建築物番号
②-3

住宅地図整理番号
40R

3	1	
4	1	
5	1	階
ア	3.6	m
イ	5.4	m

調査方法
1

1 **レ**

1 一見して危険と判断される。(該当する場合は○を付け危険と判定し調査を終了し総合判定へ)

1. 建築物全体又は一部の崩壊・落階	2. 基礎の著しい破壊、上部構造との著しいずれ
3. 建築物全体又は一部の著しい傾斜	4. その他()

2 隣接建築物・周辺地盤等及び構造躯体に関する危険度

	Aランク	Bランク	Cランク		
① 隣接建築物・周辺地盤の破壊による危険	1. 危険無し	2. 不明確	3. 危険あり	①	1
② 構造躯体の不同沈下	1. 無し又は軽微	2. 著しい床、屋根の落ち込み、浮き上がり	3. 小屋組の破壊、床全体の沈下	②	1
③ 基礎の被害	1. 無被害	2. 部分的	3. 著しい(被害あり)	③	2
④ 建築物の1階の傾斜	1. 1/60以下	2. 1/60～1/20	3. 1/20超	④	1
⑤ 壁の被害	1. 軽微なひび割れ	2. 大きな亀裂、剥離	3. 落下の危険有り	⑤	1
⑥ 腐食・蟻害の有無	1. ほとんど無し	2. 一部の断面欠損	3. 著しい断面欠損	⑥	1
危険度の判定	1. 調査済み 全部Aランクの場合 (要 内視調査)	2. 要注意 Bランクが1以上ある場合	3. 危険 Cランクが1以上ある場合		判定 2

3 落下危険物・転倒危険物に関する危険度

	Aランク	Bランク	Cランク		
①瓦	1. ほとんど無被害	2. 著しいずれ	3. 全面的にずれ、破損	①	1
②窓枠・窓ガラス	1. ほとんど無被害	2. 歪み、ひび割れ	3. 落下の危険有り	②	1
③外装材 湿式の場合	1. ほとんど無被害	2. 部分的なひび割れ、隙間	3. 顕著なひび割れ、剥離	③	レ
④外装材 乾式の場合	1. 目地の亀裂程度	2. 板に隙間が見られる	3. 顕著な目地ずれ、板破損	④	2
⑤看板・機器類	1. 傾斜無し	2. わずかな傾斜	3. 落下の危険有り	⑤	1
⑥屋外階段	1. 傾斜無し	2. わずかな傾斜	3. 明瞭な傾斜	⑥	1
⑦その他()	1. 安全	2. 要注意	3. 危険	⑦	1
危険度の判定	1. 調査済み 全部Aランクの場合	2. 要注意 Bランクが1以上ある場合	3. 危険 Cランクが1以上ある場合		判定 2

総合判定（調査の1で危険と判定された場合は危険、それ以外は調査の2と3の大きい方の危険度で判定する。）

1. 調査済(緑) 2. 要注意(黄) 3. 危険(赤)

総合判定

2

コメント（構造躯体等が危険か、落下物等が危険かなどを記入する。）

- ・ 外観調査のみ実施
- ・ 基礎に局所的な破壊が見られます。
- ・ 外装材が一部壊れています。

コメントは判定ステッカーの注記と同じとする。